

# 高速ネットワークの形成

山陽自動車道山口南ICから山口宇部有料道路を経て、山陽自動車道宇部東ICを結ぶ自動車専用道路ネットワークを確立。  
小郡道路は高速バスルート(下関～宇部～広島)として機能。



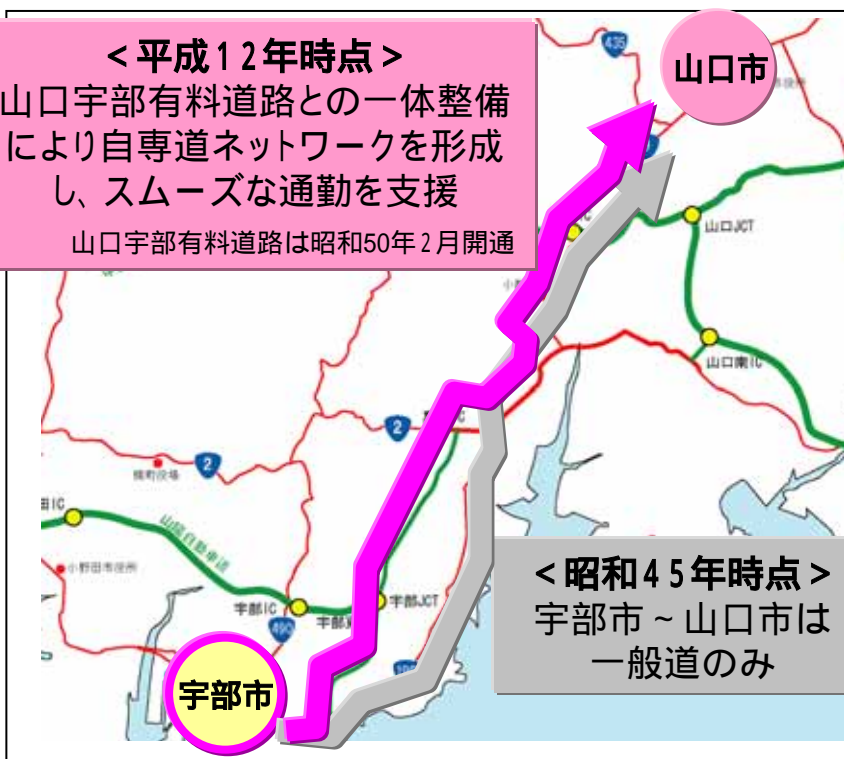
# 地域連携の支援

山口市おごりちょう～小郡町、山口市うべ～宇部市の通勤・通学者は多く、平成12年には宇部市～防府市ほうふも千人を超過。小郡道路は、地域の通勤通学行動を支援。

## <平成12年時点>

山口宇部有料道路との一体整備により  
 自専道ネットワークを形成し、  
 スムーズな通勤を支援

山口宇部有料道路は昭和50年2月開通



<昭和45年時点>  
 宇部市～山口市は  
 一般道のみ



【通勤通学流動】



1000人以上の  
 流動のみ図示  
 資料：国勢調査

# 関連地域開発の支援

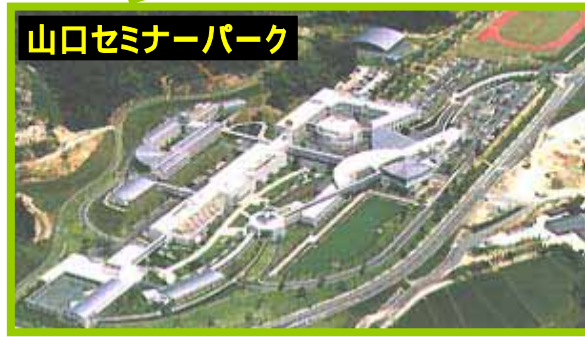
## 小郡駅前第3地区土地区画整理事業



沿線の開発



関連地域開発（山口セミナーパーク、<sup>すぜん</sup> 鑄銭司団地、<sup>おしお</sup> 小郡駅前第3地区土地区画整理事業など）へのアクセス道路として機能  
小郡道路沿線地区は、区画整理事業等により開発が進んでいる。



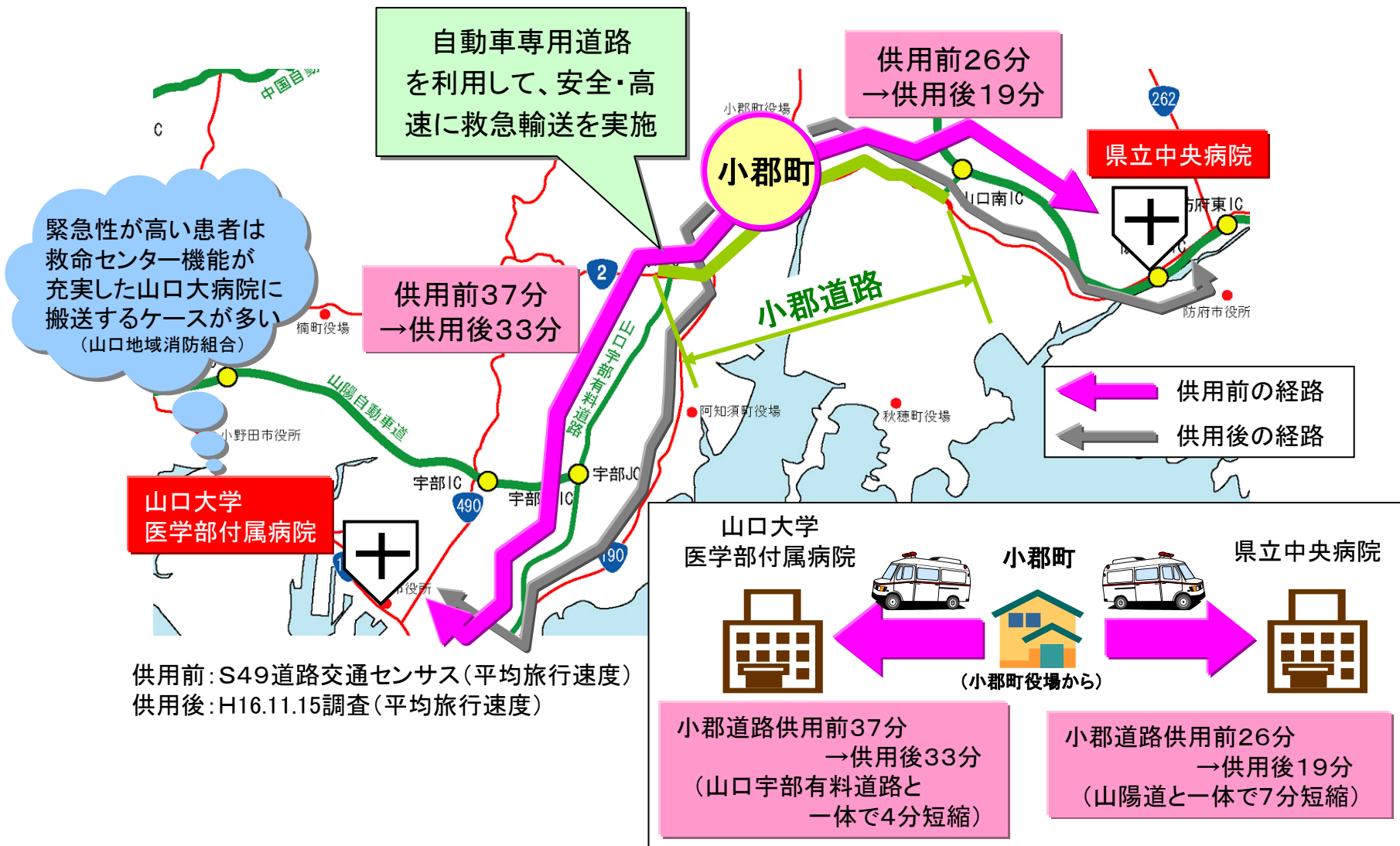
大手運送企業や食品メーカー、家電製品の小・卸売企業などが立地する流通団地。  
(平成7年分譲開始、現在12社)

山口県中央地方拠点都市地域：新山口駅南業務拠点地区  
現在ホテル、商店、事務所、専門学校、住宅などが集積しており、さらに開発が進む予定。

県民活力の発揮を担う人づくりを目的に整備された総合的な研修施設。平成7年オープン。

# 救急医療の支援

■小郡道路の供用により、第三次救急医療機関への搬送時間が短縮。



# 観光産業の支援

小郡町周辺には、湯田温泉をはじめ、多くの観光資源が存在。  
小郡道路はこれら観光地へのアクセス道路として機能。



「白狐の湯」として知られる湯田温泉をはじめ、中原中也記念館、歴史民族資料館等、多くの観光施設が立地。

湯田温泉



中原中也記念館

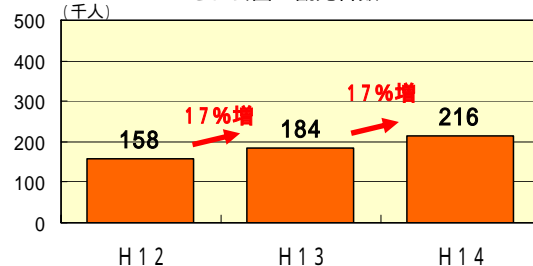


ときわ公園

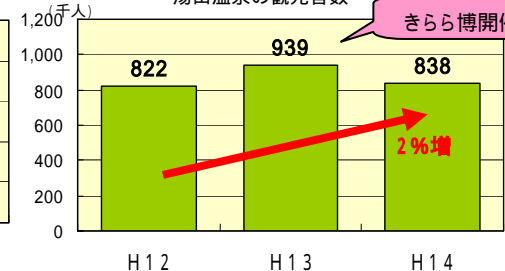


「日本都市公園100選」「さくらの名所100選」にも選ばれた美しい公園。NHKが募集した「21世紀に残したい日本の風景」で、総合公園としては全国で第1位。(宇部市HPより)

ときわ公園の観光客数



湯田温泉の観光客数



資料：山口県観光客動向調査

# 通学路の安全性向上

通学路の安全性が向上した。

## 【整備前の状況】

通学路に指定されながらも、片側しか歩道が無く幅員は2m



## 【現在の状況】

### 【開通前】

- ・片側歩道
- ・幅員 2m



### 【開通後】

- ・両側歩道
- ・幅員 3m



歩道が広がり通学も安全になった



地下道で横断でき、さらに安全に。

# 事業の投資効果

<b>費用 (C)</b>	<b>1,084億円</b>
事業費 (億円)	902
維持管理費 (億円)	182
<b>便益額 (B)</b>	<b>4,709億円</b>
走行時間短縮便益 (億円)	4,394
走行経費減少便益 (億円)	163
交通事故減少便益 (億円)	152
<b>費用便益比 (B / C)</b>	<b>4.3</b>

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
走行費用減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行費用には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、事故渋滞による損失額が含まれる。

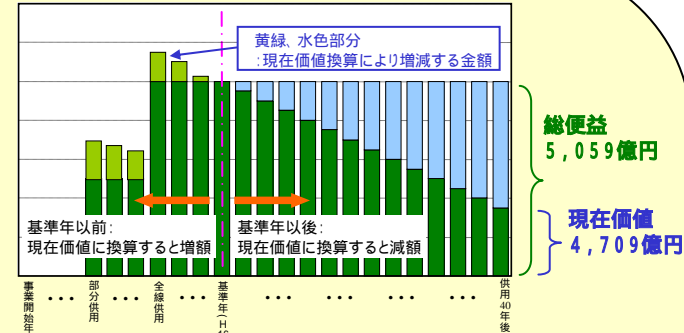
## 費用便益比の算出条件

$$B / C = \frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費減少便益} + \text{交通事故減少便益}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}}$$

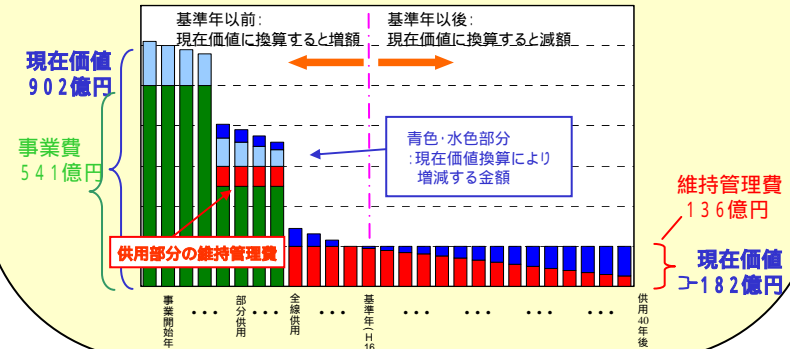
適用マニュアル：「費用便益分析マニュアル」  
(平成15年8月：国土交通省道路局 都市・地域整備局)

- 基準年次：平成16年
  - 検討年数：供用後40年
  - 事業費：現在価値事業費 = 単純価値事業費 × 割引率
  - 便益：\* 道路整備前後における、走行時間の価値 走行経費 交通事故損失額の差
  - \* 上記金額は、OD(H11センサス)、H13実測交通量により推計した交通量を用いて算出
  - \* 部分供用時に発生する便益も含めて算出
- 費用及び便益額等については、平成16年度の価値に換算  
(現在価値算出のための社会的割引率：4%)

### 現在価値への換算イメージ(便益の例)

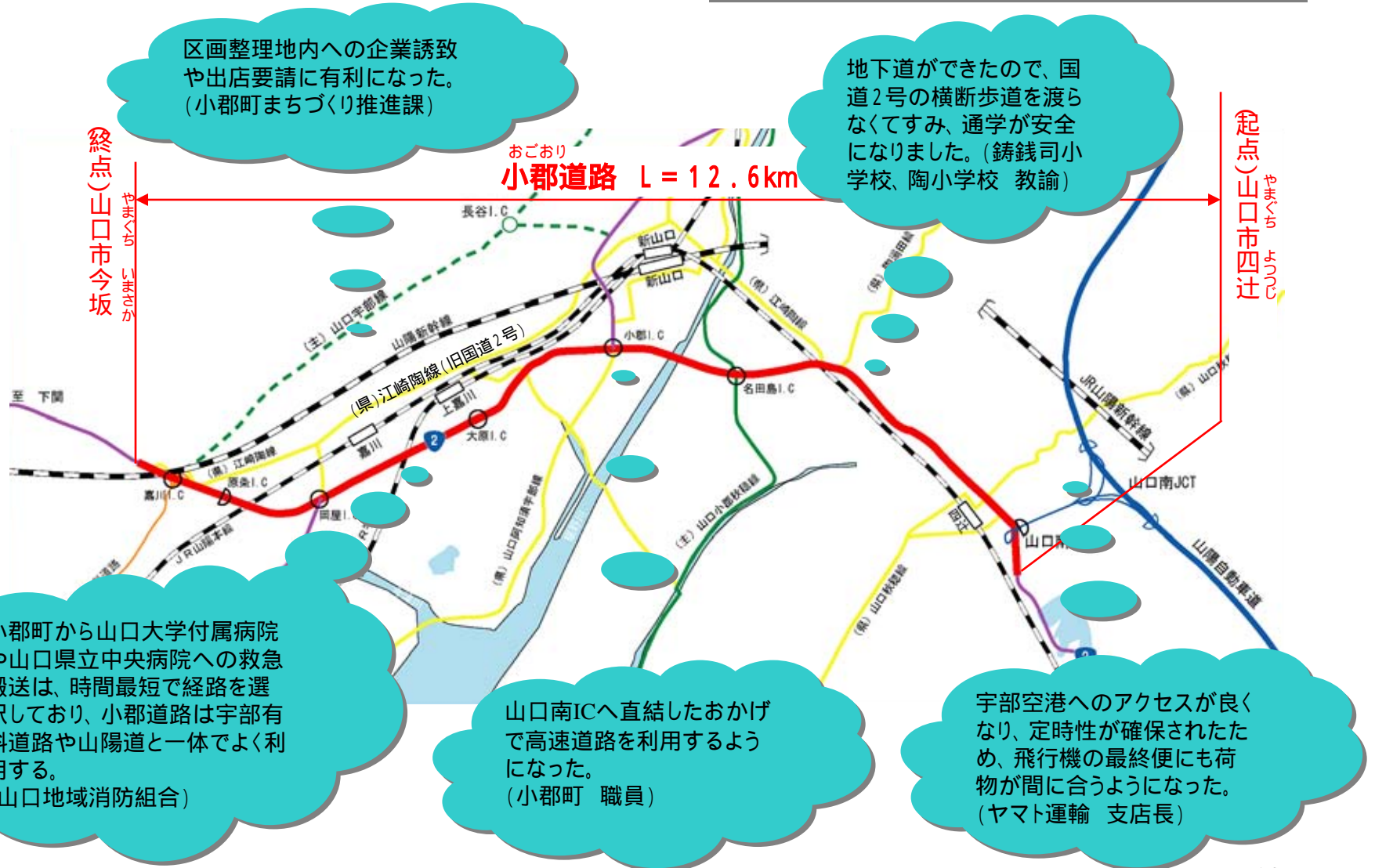


### 現在価値への換算イメージ(費用の例)



# 小郡道路の効果の実感

地元からは満足の声が聞こえている。  
沿道開発も進んでおり、地域の活性化に  
期待がかかる。



聞き取り調査による

協力機関〔陶小学校、山口地域消防組合南消防署、小郡町まちづくり推進課、ヤマト運輸（鑄銭司団地）、等〕